

施設紹介 新講義棟

新講義棟WG長・情報学部副学部長 小西達裕

浜松キャンパス工学部3号館の東側に、大きなガラス窓を多数配置し、明るく開放的な空間を備えた、5階建ての新しい共通講義棟が完成しました。43年を経過して老朽化した講義棟を建て替えたもので、アクティブラーニング等の新しい教育手法に対応する教室や、多くの学生を収容できる大講義室などが、浜松キャンパスで初めて整備されました。

この建物には、コスト削減や環境などに配慮した様々な工夫、設備が導入されています。このような環境下で学修に励む学生諸君には、自由な発想に基づく新しいアイデアの創出と知的成長を大いに期待するとともに、私どもも、この素晴らしい教育環境をいかして、地域を含めた社会の発展に貢献する人材の育成に努めてまいります。



インターアカデミア2017報告

静大IA実行委員長・創造科学技術大学院長 原和彦

インターアカデミアは、本学と中東欧の13協定校が毎年開催している国際会議です。16回目を迎える本年は9月25-28日の会期で、ルーマニアのアレクサンドル・イワン・クザ大学で行われました。12か国から80名を超える研究者・学生が集まり、本学からは石井学長、川田工学部長をはじめ16名の教員と13名の大学院生が参加しました。会議では、幅広い学術分野における62件の研究発表が行われ、活発な討論や意見・情報交換などを通じて研究者間の交流を深めることができました。次回(2018年)は、カウナス工科大学(リトアニア)が幹事校を務め開催されます。最後に、本会議が(公財)スズキ財団の研究成果普及助成金により支援いただきましたことに厚く御礼申し上げます。



右上: オープニングでの石井学長の挨拶、中央: 会議の様子、左下: Young Researchers Award受賞者(3名が本学大学院生)

保護者会

工学部学生委員長 足達慎二

11月12日(日)に2017年度の工学部保護者会が浜松キャンパスにおいて開催され、学科説明会と個別相談会が実施されました。2006年度から始まったこの保護者会は今回で12回目を迎え、本年度も多くの保護者の皆様に参加いただき、厚く御礼申し上げます。また、当日は秋の「はまかぜ」が心地よい浜松キャンパスでテクノフェスタと静大祭の賑わいを実際に見ていただくことができました。まだ保護者会に参加されることがない保護者の皆様は来年度こそ是非浜松キャンパスまで足を運んでいただき、ご子息、ご息女の学び舎を見学されることをお勧めします。

さて、本年度も例年通り、学科説明会では学科ごとに教育方針、履修科目、進路状況(大学院進学、就職内定)等の説明と質疑応答が約1時間にわたって行われました。また、個別相談会では単位修得が十分でない学生の保護者を主な対象として、履修状況のみならず学生生活全般に渡って指導教員との個別相談を行いました。保護者会によって静岡大学工学部に対する理解がさらに深まり、それをご子息、ご息女の成長につなげていただけますことを教職員一同願っております。最後に図1により工学部保護者会参加人数の推移を示します。今後とも静岡大学へのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

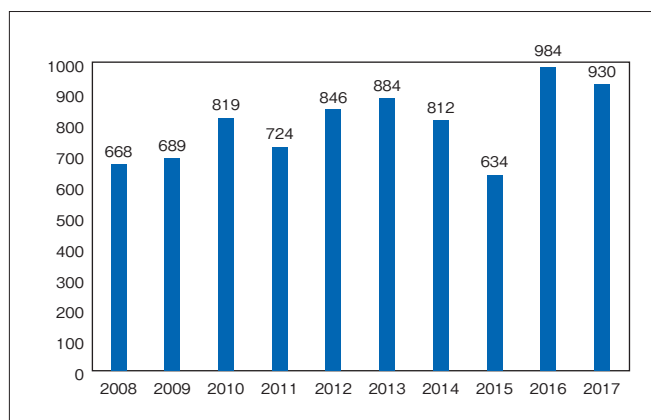


図1: 過去10年間の工学部保護者会参加者数推移(2017年は申込数)